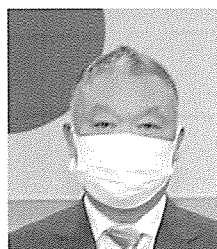


一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 第10回 通常総会開催



一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 第10回 通常総会が6月24日(木)午後2時から名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)で会員371社(委任状315社を含む。)が出席して開催されました。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため縮小して開催。



司会の新美常務理事

一般社団法人愛知県産業資源循環協会「第10回通常総会」は、常務理事 新美三良氏の司会進行にて執り行われ、総会の出席者数、委任状の提出社数の報告がありました。

開会の辞を常務理事 新美三良氏が述べ、開会の挨拶で会長 永井良一氏は、「只今、ご紹介をいただきました、一般社団法人愛知県産業資源循環協会会長の永井良一でございます。

本日は、第10回通常総会ということで、一般社団法人として、活動し始めてから、早くも10年目

となると共に本年1月に協会の名称を変更してから初めての総会であります。総会の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日の総会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から縮小しての開催とさせていただきますが、多数の方にご参加いただきましたことに感謝申し上げます。

さて、廃棄物処理に関係する事業者は「国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者」として位置付けられ、関係の皆様には、緊急事態宣言の期間中であっても、廃棄物処理業の継続にご尽力してきていただいたところですが、緊急事態宣言

が解除された後であってもそのことに変わりはありません。

引き続き、廃棄物処理業務を安定的に継続するため、廃棄物処理における新型コロナウイルスへの感染防止対策を適切に講じていただくようお願い致します。

私どもの業界は、日々排出される多種多様な産業廃棄物の適正処理や、これらを有効資源として効率的に循環させるための基幹産業団体として、資源化・リサイクルの取組を積極的に推進しているところであり、製造品出荷額等が昭和52年から42年連続日本一を続ける「ものづくり愛知」を支え、社会に欠くべからざる重要な役割を担っている業界であります。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大防止による産業活動への影響が随所に現れ当業界を取り巻く景況動向は、さらに厳しいものになっていくことが予想されますが、将来に向かって、この難局を乗り越え、更なる発展をして行かなければなりません。

そのためには、これまでも増して、資源循環の更なる推進、適正処理の徹底に努める他、環境配慮契約法への適切な対応や、優良認定制度に基づく優良産業廃棄物処理業者の育成などに取り組んで行かなければなりません。

このような中、私が会長を務めており、当協会の上部団体である公益社団法人 全国産業資源循環連合会では、資源循環を促進していく上で、産業廃棄物処理業界が処理の単なる「受け手」から産業廃棄物から資源やエネルギーを製造する「創り手」へ変貌して行く為に、産業廃棄物処理産業の振興法案を作り、法制化するために関係機関等に働きかけているところで、皆様のご理解とご支援を賜りたいと考えております。

また、近年、頻繁に発生する自然災害によって発生する災害廃棄物処理においても、当業界は重要な役割を担っています。当協会では、令和元年の台風19号の豪雨災害で被害にあった長野県千曲市から災害廃棄物処理の支援要請を受けて、仮置場の管理業務から収集運搬、処分まで会員の皆様のご協力により、令和2年3月末までに無事終えることがで

きました。

千曲市の災害廃棄物処理について多大なご協力をいただきましたことについて感謝申し上げます。

これまでの災害廃棄物処理の支援では仮置場の管理から収集運搬・処分までを大きな会社が一社で受けたり、JVを組んで受けたりしていましたが、協会として会員相互の協力で広域支援を行ったことは全国で初めてであり、当協会が良い先例になる事が出来たと自負しています。これも、ひとえに、協会を盛り上げていただいています皆様の力の賜物だと感謝しています。ありがとうございます。

こうした自然災害が生じた場合に、いち早く的確な災害復旧、復興を図るためには、我々業界が緊急応急対策として災害廃棄物処理を担って行かなければならない使命があります。

当協会では、県内全54市町村と協定を締結しており、万一被災にあった場合に、迅速かつ適正に対応していくため「災害廃棄物処理対策に関する特別委員会」を中心として、業務継続計画（BCP）を策定し、市町村との顔の見える関係の構築を掲げ、万全な備えとなるよう取組みを進めています。

あつてはならないことですが万一被災した場合には、会員の皆様が日頃培った分別・収集、処理のノウハウや会員企業が持つ資機材の活用と機動力が是非とも必要であり、災害発生時には、全面的な支援・協力をお願いしたいと考えています。

今後とも、会員の皆様方と力を合わせ、資源循環型社会の構築、低炭素社会の実現等、業界発展のために努力してまいりたいと考えております。

本日は、令和2年度の事業報告及び収支決算報告の承認について、並びに任期満了に伴う役員改選についてご審議いただく総会であります。

よろしくご審議をお願いいたしまして、簡単ですが、第10回通常総会の開会に当たりましての私のご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。」と述べました。

議案審議は、議長に副会長 中野兼司氏が選任され、議事録署名人として議長の中野副会長、永井会

長、理事 金田英和氏、理事 松井忠博氏が選任され議案の審議が行われました。

- 第一号議案 令和2年度事業報告承認について
- 第二号議案 令和2年度収支決算報告承認について
- 第三号議案 任期満了に伴う役員改選について



議長の中野副会長

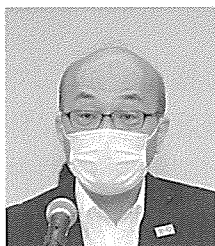
議案審議は専務理事 堀部 隆司氏より説明があり、第一号議案、第二号議案は関連があるため一括して審議され拍手を持って承認されました。

第三号議案については堀部専務理事から説明があり、令和3年度からの新役員候補者の氏名が読み上げられ一括採決され承認されました。

新役員の方々は会場演台前に並ばれ出席者の皆様から大きな拍手を受けました。

全ての議案審議が終了し、中野議長は議長を退任し、閉会の辞を伊藤常務理事が述べ、総会は閉会となりました。

※コロナ禍ということもあり開催時間は予定より短くなりました。



議案説明をする堀部専務理事

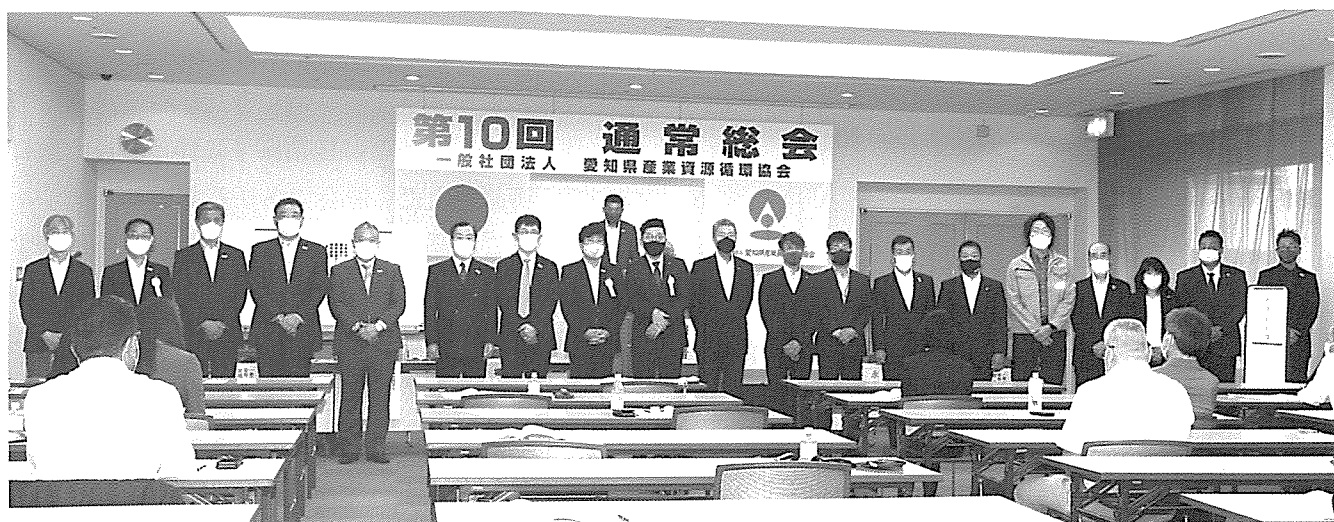


閉会宣言をする伊藤常務理事

令和3年度

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 役員名簿

役職	氏名	会社名
会長	永井 良一	永一産商 (株)
副会長	近藤 千雅	中部保全 (株)
副会長	中野 兼司	(株) 東伸サービス
専務理事	堀部 隆司	(一社) 愛知県産業資源循環協会
常務理事	新美 三良	(有) 三洋サービス
常務理事	伊藤 泰雄	(株) ダイセキ
理事	金田 英和	サンコーリサイクル (株)
理事	富田 昭夫	(株) 富田商店
理事	相木 徹	オオブユニティ (株)
理事	松井 忠博	(有) 松井工業
理事	土田 浩通	(一社) 愛知県建設業協会
理事	東久保真弓	(有) 愛知環境センター
理事	清水 善実	(株) シミズ
理事	山本 浩也	(株) ダイセキ環境ソリューション
理事	南村 朋幸	大和エンタープライズ (株)
理事	鬼頭 秀幸	(有) リサイクリング産業
理事	金田 琳	サンコーリサイクル (株)
理事	石山 勝範	(株) エヌジェイエス
理事	藤本 和也	(株) ワールド・クリーン
理事	今村 昌根	(株) 新栄重機
理事	金井 邦剛	(株) 企業処理サービス
理事	山田 修三	東亜合成 (株)
監事	鶴山 圭一	(株) 星野産商
監事	丹羽 庸介	(株) 鈴鍵



今年度の役員の皆様

令和3年度 一般社団法人 愛知県産業資源循環協会 会長表彰

総会終了後、協会事業に対し多大な貢献をされた「特別功労者」表彰5名、「功労者」表彰4名、規範となり県の産業廃棄物処理業に寄与された「優良事業所」表彰3社、同一事業所勤続10年以上で他の模範となる「優良従事者」表彰13名に、永井会長から表彰状と記念品が手渡されました。

[特別功労者表彰]

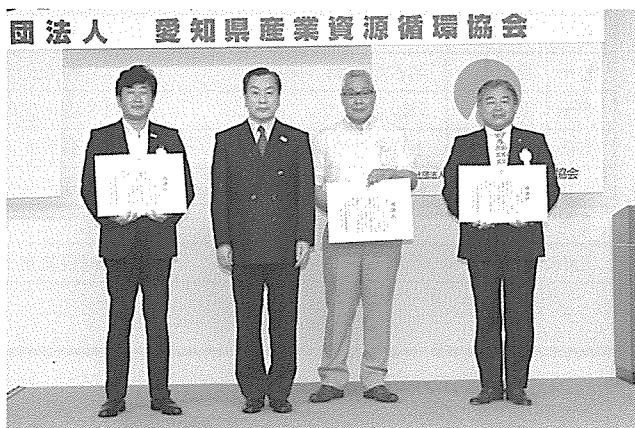
新家 義彦	有限会社ホクトサービス
金田 英治	三洲土木株式会社
中嶋 政秋	長坂建設興業株式会社
梅谷 岳志	有限会社花丘商事
藤原 亮輔	アロン化成株式会社



永井会長と特別功労者表彰を受賞された皆様

[功労者表彰]

南村 朋幸	大和エンタープライズ株式会社 (尾張北支部)
木村 照始	豊田ケミカルエンジニアリング株式会社 (尾張南支部)
梅谷 岳志	有限会社花丘商事 (西三河支部)
富田 雅則	田原環境サービス株式会社 (東三河支部)



永井会長と功労者表彰を受賞された皆様

[優良事業所表彰]

株式会社ダイセキ環境ソリューション	(名古屋支部)
昭栄金属株式会社	(尾張西支部)
誠美社工業株式会社	(尾張北支部)



永井会長と優良事業所表彰を受賞された皆様

第10回 通常総会

一般社団法人 愛知県産業資源循環協会



永井会長と優良従事者表彰を受賞された皆様

[優良従事者表彰]

松竹 冬樹	(株) ダイセキ環境ソリューション (名古屋支部)	山田 真広	アルメック (株)	(尾張南支部)
竹下 勇氣	名古屋埠頭 (株) (名古屋支部)	里山 裕晃	インセント (株)	(尾張南支部)
赤池 弘充	(株) アビゾ (名古屋支部)	柴田 真理	岡崎技研 (株)	(西三河支部)
高山 正	I Bミヤザワ (株) (尾張西支部)	南 勝利	(有) 花丘商事	(西三河支部)
中村 史朗	(株) クリントック (尾張西支部)	中村 尊	(有) ビソー環境	(東三河支部)
今村 昌根	(株) 新栄重機 (尾張北支部)	萩原 広信	(株) エムエムアイ	(東三河支部)
大山 真人	名環サービス (株) (尾張北支部)			

公益社団法人 全国産業資源循環連合会 令和3年度 会長表彰

■功労者表彰

近藤 千雅	中部保全株式会社
-------	----------

■地方功労者

平村 成一	株式会社テクア
清水 宏臣	有限会社清水商店

■地方優良事業所表彰

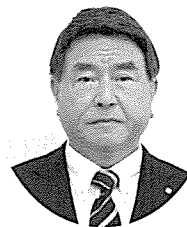
明倫運輸株式会社
株式会社富田商店
株式会社リョクリン

■優良従事者表彰

永井 弘晃	永一産商株式会社
佐藤 智和	高和興業株式会社
新井 長清	大和エンタープライズ株式会社
尾之内 昇	久栄運輸株式会社
岩瀬 雅士	株式会社エヌジェイエス
笠原 典嗣	有限会社リサイクリング産業

特別功労者受賞者の皆様からのメッセージ

新家 義彦 氏



理事を退任するにあたり、振り返ってみますといろいろな出来事が思い出されます。特に次の二つの出来事が印象に残っています。

一つ目は、平成28年1月早々にテレビから流れ産業廃棄物の排出事業者と処理業者の双方に衝撃を与える「食品廃棄物の横流し事件」が発生しました。

発端はCoCo 壺番屋のパートさんがスーパーにて販売されていた自社のカツを発見し、同社が調べたところ転売が確認されました。その事実が公表され、新聞、テレビで全国に広まり社会問題へと発展し、当時弊社にはテレビ局をはじめとした数社のマスコミが取材に押し寄せてきました。

この中間処分業者は、会社以外にも数か所へ違法な食品廃棄物を隠蔽しており、その数約9,000㎡と言われており異臭が漂っていた現場もありました。

最終的に廃棄物は協会が撤去することとなり、当時支部長であった私も精力的にボランティアとして参加し、すべてを撤去するのに半年以上を費やしました。

今後、このようなことを二度と起こさないためにも、業界として適正処理の推進に尽力していきたいと思えます。

二つ目は、平成23年3月11日未曾有の東日本大震災により甚大な被害が及び、大量の災害廃棄物が発生し運搬・処理に困難をきたしたと、改めて発災時における対応について考えさせられました。

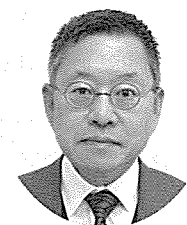
この地方においては、今後30年以内に南海トラフ巨大地震が起こる確率が約70%といわれ、あつてはならないことですが、そのような大規模災害発生時において当業界の果たす役割は大きく、災害廃棄物の迅速な処理、及び適正処理の遵守、社会生活における環境保全の復旧・復興の支援活動に一番に貢献できる業界が私たちであると自負しております。

また、災害時の廃棄物処理に関する協定の締結への立ち会い、愛産協版「業務継続計画（BCP）」の策定に参加できたことは貴重な出来事です。

平成11年より役員を担わせていただき、企業の長としての責任の重さ、社会貢献の重要性、次世代につなぐ資源循環の担い手として、協会の歴史に残る数多くの場面に立ち会わせていただけたこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

最後に、SDGsのゴール達成に向けて産業廃棄物業界のさらなる取り組みと発展を願っております。

金田 英治 氏



この度は特別功労賞を賜り誠にありがとうございました。

私が尾張北支部支部長の役職に就いていたのは、わずか2期4年間です。振り返ってみても、自分自身の至らなさや周りの方々に助けていただいたことしか思い浮かばず、表彰していただくなんて、なんだか申し訳ないような気持ちです。

この4年間の行事で印象に残っているのは1泊2日で企画した、2回の施設見学会です。

施設見学会は対外行事であるだけでなく、企画から相手先との折衝、2日間に渡る設営まで気遣いの多い行事です。しかも回数を重ねれば重ねるほど「ネタ切れ」もあり、企画そのものに柔軟な発想と高度なアンテナが要求されます。我が支部では平成29年に「パーム油発電施設」令和元年には「ロボットによる自動選別施設」等を見学することができました。どちらの企画も私にとっては「目からウロコ」の内容で、支部活動であるからこそ実現できたものでした。

何よりもありがたかったのは、担当役員の献身的な働き。気遣いも素晴らしく、参加者の皆様に喜ばれたのは言うまでもありません。

実のところ、各行事だけでなく役員会に至るまで「本当によく助けられた」というのが私の感想です。

改めて、4年間お世話になった役員の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

中嶋 政秋 氏

この度は特別功労賞を賜り誠にありがとうございます。

平成29年に理事という大役を仰せつかり、四年間に渡り役員の皆様には大変お世話になりこの場をお借りしてお礼申し上げます。

私は建設業界に身を置く立場ではありますが協会員として12年間、支部役員、副支部長、理事として従事させていただくことができました。

この日を迎えることができたのも周りの方々に助けていただけたおかげだと感謝しております。

協会では8年間在籍した安全衛生委員会は、全国の最新設備の施設へ伺い各社における適正処理、安全衛生対策など視察させていただき、何故当業界に災害事故が多いのかという問題に向き合う機会を得、安全衛生委員として意識を高めることができました。

今後はこれまでの貴重な経験を活かし、社内における災害ゼロを目指す取り組みをさらに推進し、地域社会においては環境保全に率先して貢献し、産業廃棄物業界の社会的地位の向上の一助となりますよう尽力してまいります。

(一社)愛知県産業資源循環協会の益々の発展と会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



梅谷 岳志 氏

この度は、特別功労者に選出して頂きありがとうございます。

人に歴史ありと言われるますが、自分は協会と共に成長させて頂けたと思っています。

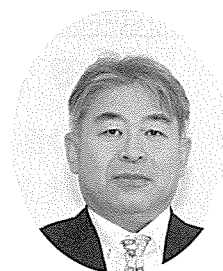
自分が協会に入会させて頂いたのは平成4年、21歳の時です。同時に青年部会にも入会しました。

青年部会では先輩方に指導を受けながら委員長・副会長を経て会長も経験させて頂き、会長在任中は全国の青年部協議会で第4回全国大会(愛知大会)をオアシス21で開催しました。24時間テレビの「富士山をきれいにするプロジェクト」に参加し富士山でゴミ拾いを行い、愛知県青年部が20周年を迎えるに当たり周年事業も運営しました。中でも周年事業では歴代会長を招き青年部の成り立ちや将来に期待する事を伝えて貰い、また青年部の歌を作った事が心に残っています。

協会では、広報編集委員会を15年ほど携わらせて頂きました。始めは広報編集委員会へは青年部からの出向、その後西三河からの出向に代わり、「産廃あいち」から「循環あいち」への変革の時にも携わりました。

また、地元の西三河支部では20年ほど役員を務め昨年まで支部長を任せて頂きました。支部活動は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から納得いく活動が出来なかったのが心残りです。

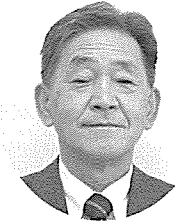
そしてこれからは、この業界でも言われる後継者不足・組織の高齢化に対処できるように、支部役員の方々の若返りはもちろん各事業者の担い手育成・青年部への斡旋を積極的に行い、業界や業務の必要性・楽しさを学び、業務継続や移行がスムーズに行える環境を作り、この業界を盛り上げていきます。



藤原 亮輔 氏

この度は特別功労賞を賜り、誠にありがとうございました。

令和元年に東亜合成名古屋工場長として理事会推薦で2年間理事を務めさせていただきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により発令された緊急事態宣言の影響で、従来の協会活動が制限されて満足のいく貢献ができなかったことが残念ではあります。



この間で特に印象深いのは、令和元年の台風19号により千曲川が氾濫し、大規模水害による災害廃棄物の処理が進まず、住民の生活や衛生が脅かされている中で、永井会長のリーダーシップのもと一丸となって県外支援に尽力されたことです。規制の壁に対して果敢に行動に移され、これからも頻発する大規模自然災害時の災害廃棄物対策に一石を投じられた実行力に感動しました。

もう一つは世界的に地球温暖化防止や環境保全の意識が高まり、SDGsなどの持続可能な社会の在り方が問われる中、「一般社団法人 愛知県産業資源循環協会」に名称変更され、時代の要請にマッチしたイメージに一新されたことです。日本の産業を底辺から支えるエッセンシャルな協会として、広く社会に知られる絶好の機会だと感じました。

短い期間ではありましたが、社会の生活基盤について色々と考えさせられたこと、また会員の皆様の地道な社会貢献活動を学ばせて頂いたことに感謝いたします。

最後になりますが、協会ならびに会員各社の益々の発展を願っております。ありがとうございました。